

## 長崎キリシタン考(2)

長崎史談会 幹事 村崎春樹

## 浦上とキリシタン禁教令

慶長19年(1614)キリシタン禁教令を徹底するため、江戸幕府は上使山口駿河守を長崎に派遣、長崎奉行長谷川左兵衛藤広を指揮して、教会の破却を実施するが、浦上にあったサンタ・クララ教会は長崎の教会より5年遅く、元和5年(1619)に長崎桜馬場のトードス・オス・サントス教会やミゼリコルディアとともに長崎奉行長谷川権六や長崎代官末次平蔵政直らによって破却される。

同年、前長崎代官でキリシタンの村山等安が江戸において斬首されている。しかし、慶長19年(1614)当時の『イエズス会年報』では「この町から1リーグ程離れた浦上のレジデシアには、今も尚神父が駐在し続けていますが、異教徒の地から商売のため当地に来た大人が58人洗礼を受けました。この地方は、住民が皆信者ですので、洗礼を受けた幼児の数は非常におおくなります。・・・」との記録があり、長崎で多くの教会が破却された時でも、浦上では多くのキリシタン信者が信仰を続けていた。

さらに、寛永3年(1626)徳川秀忠からキリシタン根絶の命を受けた、3千石の旗本水野河内守守信が長崎奉行に就任すると、踏絵やキリシタン告発への報奨金制度を設けて、長崎や浦上のキリシタン摘発を図った。寛永6年(1629)には秀吉の軍師で若くして亡くなった竹中半兵衛重治の叔父である重光の子で、豊後府内2万石の藩主竹中采女正重義が、キリシタン信徒の絶滅を目的に、長崎奉行に任命され500人の軍勢とも長崎に着任し、キリシタン追及を強化した。寛永6年(1629)の『イエズス会年報』では、浦上のキリシタンたちは、長崎奉行竹中采女正の残虐な摘発を恐れて多くのキリシタンが山林に逃げ込んだ。竹中采女正は、部下に命じて山林に分け入り、藪には火を放つなど徹底した山狩りを行い、キリシタン信徒を捕縛、棄教を迫った。棄教者は直ちに釈放されたが、拒む者は拷問によって棄教を迫った。これにより多くの棄教者が出るようになったと記録している。これ以降キリシタンは潜伏して信仰を続けることになる。

## 長崎キリシタン領の誕生

長崎が開港する以前の長崎は、在地地頭で鎌倉幕府の成立によって肥前国御家人になった長崎氏が支配していた。この長崎氏は戦国時代初期には島原半島南部を拠点していた有馬氏の支配のもとにあり、有馬貴純(ありまたかずみ)の子康純(やすずみ)が長崎氏の養子となって長崎氏を相続した。この長崎康純の子が左馬太夫純方(さまだゆうすみかた)で、長崎開港時の長崎地頭であった長崎甚左衛門純景(ながさきじんざえもんすみかた)は、康純の孫になる。純景には、のちに戸町氏を相続し甚左衛門純景死後、改めて長崎氏を相続する惣兵衛重方(そうべえしげかた)ほか、甚右衛門一無、三郎兵衛宗

心らの弟がいた。また長崎織部亮為英(ながさきおりべのすけためひで)という弟がいたとも云う。また、この織部亮を祀った織部神社が長崎市桜馬場にある。この頃の長崎は、桜馬場あたりまで長崎港が入込んでおり、この周辺を取り巻くように人家がある程度の、小さな町であった。この地を支配していた大村純忠(おおむらすみただ)は、南蛮貿易(対ポルトガル貿易)のさらなる、発展を目標み福田浦から、隣の深江浦(長崎港)に移した。長崎港に突き出した岬の先端部森崎に貿易のための町づくりをおこない島原・大村・外浦(ほかうら)・平戸・横瀬浦・文知の6ヶ町を完成させた、これを内町と云い長崎氏の支配から分離した。元亀2年(1572)に長崎が開港しポルトガル船が入港した。



この新興の貿易都市長崎には6ヶ町の町並みと海に突き出した岬の先端、現在の長崎県庁にイエズス会のキリシタン寺院(サン・パウロ教会)が設けられた。また長崎市立図書館脇の通りに一ノ掘、商工会館脇

に二ノ掘、桜町小学校南側に三ノ掘が設けられ、これ掘が貿易都市長崎の境界であった。しかし天正3年(1573)には武雄領主後藤貴明(ごとうたかあき)、平戸領主松浦隆信(まつら たかのぶ)や諫早領主西郷純堯(さいごうすみたか)から攻められ、大村純忠は一隠遁することになった。3年後に復帰するが、大村氏の勢力衰退により貿易都市長崎の大村氏による直轄地としての支配は崩れた。これにより貿易都市長崎は居住している商人たちによる自治組織が、自然発生的に組織されて大村氏にかわり町方としての自治が始まった。この間、深堀氏や長崎の地頭長崎甚左衛門とも小競り合いが発生した。このような、大村氏の影響力衰退と貿易都市長崎の自治化の防止策として、大村氏は貿易都市長崎への影響力を少しでも残すため、大村純忠は天正8年(1580)イエズス会への貿易都市長崎と茂木村の寄進を決断した。また、翌年の天正9年(1581)有馬晴信が浦上を、イエズス会に寄進した。これにより、貿易都市長崎・浦上村・茂木村を含むイエズス会領長崎が誕生した。(つづく)